

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ボルト	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.560	△RG	0.047	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ボルト

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

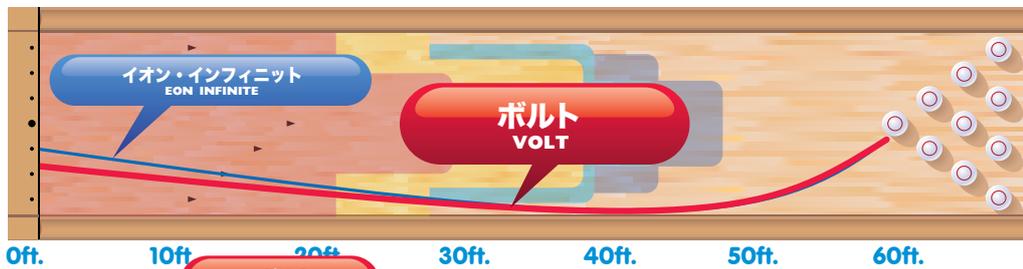
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤 番

比較対照ボール：イオン・インフィニット

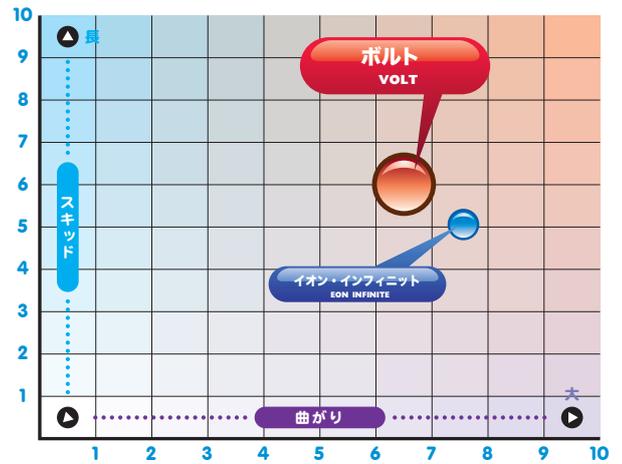
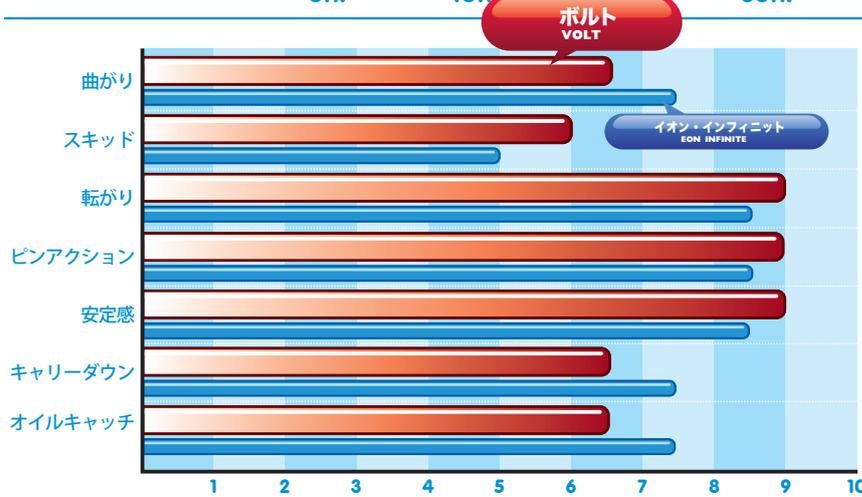
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤 番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	バックエンドリアクション	レンジス
Light Oil	Smooth	Early Roll
Light to Medium	Smooth to Arc	Early to Med
Medium Oil	Arc	Med-Lane
Medium to Heavy	Arc to Sharp	Med to Late
Heavy Oil	Sharp Angle	Late Roll

ボールの評価

同月に900Global社から発売するFLUXとVOLT。斬新かつOliod形状と特徴とした新しいデザインのコア採用してHookからRollにかけての動きを劇的に変化させています。FLUX同様、S72カバーストックからS72Rカバーストックへの変化はオイルのトラクションを維持できる触媒を追加しています。それによりPearl素材ならではの走りを活かしながら滑り感を少なくし、常にオイルを捉えているかのように「72」の領域らしい安定したキャッチ力を生み出しています。

私のテストングの感想は「コアとカバーのマッチング良さ」だと思います。EONのコアにウエイトブロックを追加することでS72の領域での使い勝手が格段に良くなり、テストングで900Global男子新キャプテン和田秀和プロにも投球して頂きましたが、「VOLTはかなり気に入っています。ギアSSの動きを少しアーク状に感じ、ギアSSで先がきすぎる時にイメージしやすい。しっかり手前の転がりや反応も分りやすく、ピンの飛びがとにかく良いです。ギアSSより板目2・3枚右からのアプローチになります。」という報告を受けました。やはりギアSSの後に使用できるというコメント通り、S74のギアSSのカバーとVOLTのS72Rの差はパフォーマンスの差として表れ、キャッチと曲がりのイメージ差にでているようです。「手前の転がりが良く」という表現にある通り、EONのOliodコアから新しくデザインされたChargedコアの安定した転がりと扱いやすさも出ています。領域的にはミディアムから以降の後半重宝するボールだと思います。扱いやすさの中にピンの飛びがとにかく良く感じるというのはボウラーにとって非常に魅力的で、競技ボウラーには特に実用性の高いボールであるとすぐに想像できると思います。なかなか後半勝負できるボールが見つからない方は、このボール試す価値アリです。

特記事項

安定した転がりと曲がり、ピンの飛びが良いという和田プロのコメントにあるように、中盤から後半高いレベルで勝負できるボールが加わりました。ぜひ皆さんのレポトリーに加えてください。